令和３年度OACミニフォーラム　アンケート結果

●開 催 日：令和３年１２月８日（中ブロック）、１２月２０日（東ブロック）

　　　　　　令和４年１月２４日（北ブロック）、１月２８日（南ブロック）

●参加者数：１２８名（中：２８名、東：３７名、北：４１名、南：２２名）

●アンケート回答数：６９名

１．参加者の所属機関について

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 所属機関 | 参加者数 | 割合 |  | 所属機関 | 参加者数 | 割合 |
| 保健所 | 27 | 21.1% |  | 社会福祉協議会 | 2 | 1.6% |
| 市町村 | 12 | 9.4% |  | 地域包括支援センター | 13 | 10.2% |
| 政令市 | 4 | 3.1% |  | 薬剤師会 | 1 | 0.8% |
| 医療機関 | 9 | 7.0% |  | 司法書士会 | 5 | 3.9% |
| 相談支援事業所 | 10 | 7.8% |  | 回復施設 | 3 | 2.3% |
| 居宅介護支援事業所 | 7 | 5.5% |  | 民間支援団体 | 3 | 2.3% |
| 就労移行支援事業所 | 1 | 0.8% |  | 自助グループ | 31 | 24.2% |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  | 計 | 128 | 100.0% |

２．満足度について

３．今後の連携に役立つか

４．顔の見える関係づくりについて（複数回答）

　　　　　<その他内容>　※主なものを抜粋

　　　　　・業務内容について理解が深まった。

　　　　　・色々な自助グループの話が聞けた。

　　　　　・直接体験談を聞くことで、

　　　　　　依存症に対するイメージが変化した。

５．オンライン開催について（複数回答）

<その他内容>　※主なものを抜粋

　　　　　・マイクの調子がよくなかった。

　　　　　・オンラインでグループワークは

　　　　　　難しかった。

　　　　　・グループワークの時間が短かった。

６．全体の感想について　　※主なものを抜粋

　・当事者、家族の体験談を聞くことで、回復のイメージを持つことができた。

　・治療や自助グループにつながることの大切さを理解すると同時に、つながり続けることの難しさを感じた。

　・様々な立場で経験や意見を交換することができ、とても刺激になった。

　・関係機関の方と顔が見える状況で交流ができ、よかった。

　・相談できる場を知り、様々な介入方法を考えることができた。

　・グループワークの時間がもっとあればよかった。

　・体験談への反応や交流した感覚が、対面時よりも少なく、オンラインでの難しさを感じた。

７．今後OACの活動で取り組んでほしいことについて　　※主なものを抜粋

　・コロナが落ち着いたら、対面で開催してほしい。

　・他の地域の人の話も聞いてみたい。

　・参加者、団体から、さらに情報を得たり、連絡を取り合える手段の案内や仲立ちをしてほしい。

　・自助グループ体験ツアーをしてほしい。